

《 コラム 》 Vol.38

読書のお話 (メンターの不思議な共通点)

今回のお話はノビサクとは関係ありませんが、暫しお付き合いを。

仕事柄、読書をします。

というか、必要に迫られて本を読むという感じでしょうか。

ビジネス関係の本が多いのですが、人生(哲学)関係やスピリチュアル関係の本も読んだりします。

おそらく同じ年代の方々よりも多くの本を読んでいると思います。

新型コロナの影響で外出が少なくなった時期が皆さんもあったかと思います。

そんな時、結構本を読んでいました。

あるとき、今月はちょっと多いな…と思って、

過去1ヶ月に読んだ本を数えてみると…なんと30冊以上!!!

1日に1冊のペースで読んでいたことになります。

本をたくさん読むと、すぐに小さな本棚がいっぱいになります。

本棚のスペースには限界がありますので、入りきらない本は処分することになります。

そんな時は、迷わずBookOFFへ。

過去に何度か足を運んでおります。

1度に数十冊持って行くのですが、ある日「今日は何か多いな…」と思って本の数を数えてみたところ…

なんとその日は88冊!(夏も近づく♪八十八冊!)

そしてBookOFFにて引き取ってもらおうと…その金額はなんと1万円越え!

流石にその金額を見た瞬間、目が点になりました。

ほとんどの本が100円前後なのですが、

ひろゆきさんや岡田斗司夫さんの本が結構高額で引き取ってもらえました。

本を読んでいろいろと勉強させてもらっているのですが、

一時期3人のメンターがいました。

メンターとは師匠のような感じの人ですね。

自分が勝手にメンターと呼んで教えを乞うております。

当時のメンターは本田健さん、山崎拓巳さん、神田昌典さんの3人でした。

皆さん事業で成功されておられる素晴らしい作家さんです。

この3人の作家さん、なんとある共通点がありました。
その共通点とは…バシャール (Bashar) です。
バシャールとは、アメリカ人のダリル・アンカさんに降臨 (憑依?) する宇宙人らしいです。
(恐山のイタコもびっくりです！)
地球の3千年後の文明を持つ宇宙人という話もあります。(もう意味が分かりません。)

本田健さんは「本当にやりたかったことを、今すぐはじめよう！」
山崎拓巳さんは「今ここが人生の目的地なんだ」
等の書籍でバシャールの事を紹介しています。
しかし、神田昌典さんはバシャールに関する書籍は出版されていません。
神田さんがなぜバシャールと関係があるのか…それはご本人の口から聞きました。

神田さんが若いころ (今でもお若いです) 事業に行き詰ったとき、
知人の紹介でバシャールに直接会いに行ったらしいです。
バシャールは地球人の相談に的確な導きを教えてくるそうです。
神田さんもお蔭様で苦難を乗り越えられたとか。

人間に降臨する宇宙人に相談する…なんか胡散臭い話のような気もしますが、
その教えで人生が変わる事もあるとか。
本多健さんもその一人みたいです。

そのバシャールが地球人への生き方のメッセージとして、
「本当の自分自身を生きるためのルール」を語っています。
それは…

- ① 自分の情熱に従い行動をする。
- ② それに対して、ベストを尽くす。
- ③ そして、その結果には執着しない。
- ④ 常にポジティブな状態を保つ。
- ⑤ ①～④を実行することにより、自分にプラスの結果がもたらされる。

このことは私の現在のメンターであります中村天風さんの教えと共通するところがあります。

中村天風さんは大谷翔平選手が書籍を読んだことで話題になりましたね。
(因みに天風さんの書籍は私の本棚に 18 冊ありました…読み過ぎ!!)
中村天風さんのこともお話ししたいことが山ほどあるのですが、
ここでは割愛させていただきます。(天風さんの人生を映画にしたら絶対に面白いで
す。)

話が長くなりますので、最後にお勧めの書籍を紹介させて下さい。
それは、「今日、誰のために生きる？」
---アフリカの小さな村が教えてくれた幸せがずっと続く 30 の物語
(ひすいこたろう&ショーゲン著) です。

本に付いている帯の言葉がまたスゴイ！
「効率よく生きたいなら、生まれてすぐ死ねばいい」
遠い昔の日本人の生き方(感性)を教えてくれる書籍です。
おすすめです。

